

令和2年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1. 日時 令和2年7月10日（金）
2. 場所 布施高校 文化会館
3. 出席者

学校運営協議会委員

東大阪市立長栄中学校校長 北村 和久 様
八尾市立八尾中学校（夜間）教頭 辻 巧 様
（株）ベレーザコーポレーション 入江 孝吏 様
星陵同窓会副会長 八木 佳奈枝 様
近畿大学アドミッションオフィサー 松浦 正明 様
保護者会会長 大西 克子 様

本校より

准校長、教頭、事務部長、主査、首席・生徒指導主事、教務主任、進路指導主事、1年学年主任

4. 内容

- （1）准校長挨拶
- （2）授業見学
- （3）議題および協議内容

○学校運営協議会会長の互選

○令和2年度 学校経営計画

ア. めざす学校像

生徒を自立した社会人として送り出すために、社会人としての必要な力を養うとともに、社会に主体的に参画できる人材の育成をめざす。キャリア教育の観点から、ほとんどの生徒が卒業後社会に出て活躍することから。

イ. 中期的目標

①確かな学力

- ・学校独自の授業改善、学習についてこれない生徒の引き上げを観点にした、基礎学力
- ・総合的な探究の時間（友の会）総合探究 PT

- ・主体的に学ぶ姿勢、学習環境の整備、スマホ指導の徹底

②豊かな人間性と「社会の一員」としての自覚の醸成

- ・部活動や生徒会活動の活性化、あいさつ運動の励行
- ・規範意識の醸成・自己管理能力
- ・キャリアプランニング、学年ごとの進路計画 ジョブチャレ

③生徒支援と安全安心な学校づくり

- ・4年間を見通した人権教育計画、分掌等運営シートの活用（キャリア教育と絡める）
- ・困難な生徒の把握と対策 スクリーニングレーとの活用
- ・支援教育コーディネーター、スクールカウンセラーと連携し人間関係で悩みを抱えている生徒に対しての面談、その調整をする。家庭での虐待や何らかの支援が必要である生徒を SC、SSW とつなぐ。就職支援でも活用する。

④学校運営体制の改善と人材育成

- ・学校運営への参画意識の醸成
- ・学年主任の運営委員会への参加、分掌等運営シートを活用して学年全体で動く、将来構想チームの立ち上げ
- ・学び続ける教員集団の育成、若手教師塾の実施、研修の計画的な実施
- ・働き方改革、放課後の勤務時間の確保、勤務時間の繰り下げ

【質問】 3年制の卒業生に対しての4年間計画の三年バージョンはあるのか？

【回答】 若干名なのでまだ検討していない

○令和2年度 学校教育計画

ア. 生徒全員分の簡易トイレ・非常食を配備済。

イ. 本年度の年間研修計画

- ・授業改善研修を多く予定している。授業改善 PT が中心となり、生徒に必要な力を身に付けさせるためにどのような授業をするべきかを考える。

(4) 各分掌からの取り組み状況説明

○進路指導部

① 就職関係

- ・働きながら学ぶ

- ・今年度のジョブチャレ参加人数6名。
- ・ハローワーク指導10名
インターン2 ジョブチャレ6名 生徒の学び経験に活かす
看護、介護、保育等は調整中

② 情報収集

③ 生徒向け説明会等

- ・昨年度の就職希望者は21名。
- ・卒業時に就職先が決まっている生徒は92.7%と過去最高の数値。
- ・総合職、事務職でも内定をいただいた。
- ・卒業生講話により生徒の意識付け
- ・企業訪問は実施できず、電話対応。
- ・応募前職場見学 15名程予定
- ・職業斡旋はサポステと協力、調整。
- ・在学中の学びの保障に関しては、就学支援金等の案内。
- ・進路実績は、HPに掲載。

○生徒指導部

① 新しい取り組み

- ・校内用スリッパでの外出禁止指導の表向きはマナーの向上のためであるが、現実には校外での喫煙を防止するため
- ・教員数の減少により当番制の規模縮小の予定
- ・スマホ指導のマニュアル作成により非常勤講師も確実に指導できるようにしている。
- ・喫煙マニュアルの作成、図書当番を警備当番に充てることで指導、見回りの強化により校内喫煙の減少。
- ・廊下当番の強化により、スマホ指導、学習環境の維持に貢献
- ・生徒会活性化を図るために学校経営計画と並行して「あいさつ運動」の実施、学校パンフレットの改定に参加
- ・教員数減により、隔年で文化祭を舞台のみの年と模擬店のみの年にしている。今年は、舞台のみの年。

② 生徒の学習環境状況

- ・昨年度に比べ全学年で人数が減っている
- ・図書館利用者は非常に増えている。生徒にとってオアシス化している。今後、改善予定。
- ・校外に出た数は去年より減少
スマホの使用件数も去年より大きく減少「スマホ指導の効果あり」
図書館利用者の数も去年より減少「必要な生徒の居場所になりつつある。」

③ 喫煙

- ・今年度4月0件であるが、見回りになかなかいけていなかったためである
- ・減少傾向
- ・周辺施設からの問い合わせはなし

④ クラブ活動

- ・参加率が昨年度より減っている。
- ・運動部28パーセントがアップ

⑤ 保健室利用状況

- ・安定している。
- ・昨年度の使用よりは減少、4月は増えているのは図書館利用を制限したせい。

○教務部

① 0限授業

- ・参加生徒が増加している。担任の声かけがうまくいっていると考えている。

② 基礎学力テスト

- ・昨年度までは、既製品を使用していましたが、本校教員に作成してもらいました。授業についていけるかどうか？の判断基準で作成してもらいました。

③ 土曜講座

- ・従来通り、美術・パソコン・サブカルチャーの3つを実施しています。臨時休業の影響で開始がずれ込んでおり、タイトなスケジュールとなっています。

④ 土曜日授業

- ・2カ月の休校期間があったため、9回の授業を8月より2週に1回を行います。

⑤ 総合的な探究の時間

- ・探究活動を行うために、基本技術力を養っていく目標で行います。

⑥ 授業力改善 PT

- ・「授業についていけない生徒をどのようにするのか？」を目標に行っていきます。教員同士の意見交換も行うことで改善を図ります。

各分掌からの取り組み説明全般についての質問事項

質問（入江）0限目の日本語授業と先ほど見学させてもらった日本語と同じですか？

教頭 同じです。先ほどの授業は、0限も日本語を行っていて、0限目の後に、1限、2限を連続で実施しています。

質問（准校長）中学校方では、観点別評価については、どのようにして取り組んでおられますか？

今後、高校でも実施することになっています。教えていただけますか？

北村様 「ここまでできれば、評価Aだよ」と明記している。それに合わせて評価を出している。はじめは（教員も生徒も）戸惑っていたけど、今は定着している。

准校長 今から観点別を作成していくように教育庁から指示されている。またノウハウを教えてください。

大西議長 授業の感想について意見はありますか？

辻様 日本語指導の見学をさせていただき、本校の卒業生なのですが、楽しそうにできてよかったです。ベトナムの方が漢字を覚えるのは難しいようです。それでも楽しそうにしていたのでよかった。漢字を覚えていけただけでも、高校に来てよかったと思ってもらえると思います。

准校長 私も今日、見たのがはじめてで、難しいことをやっていると感じました。やっぱり難しいのですかね？

辻様 難しいと思います。でも日本でやっていくには、このレベルは必要かと思います。

教頭 二人の言語習得レベルがちがうので指導が難しいと担当教員が言っていました。2ケ年計画でN3を目指しています。

教頭 松浦先生から何かございますか？

松浦 家庭科の授業を見学したのですが、スマホの画面を映像に映している。生徒も楽しそうだったのでよかったと思います。

大西 最後に教頭より報告です。

教頭 今年度の学校運営協議会の実施計画連絡。

学校教育自己診断のデータは第3回の学校運営協議会でお知らせできると思います。

お忙しい中、ありがとうございました。

教頭「学校の取り組みと生徒の状況」

○年齢別在籍生徒数について

学齢の生徒が多い。82名、1、2、1、1のクラス合計5クラス。

○年齢別教員数について

ほとんどが35歳以下の教員。

○生徒数について

生徒数が平成25年からみると大幅に減った。平成27年に籍だけを残していた生徒を除籍した。

その後も、入学者数、志願者数ともに減少傾向が続いている。

中退数、留年数、長欠数が減少しているがそれは生徒数が減っているためである。

昨年は中退者数が増えたが、SSWの活用などで中退防止のケアを行っている。

○部活動について

生徒数減により部活動参加者の減少。現在、活動中のクラブは、バドミントン部、バスケットボール部、漫画研究部、茶華道部、書道部。

○昨年 専門学校、4年生の大学進学等

○保健室利用者が平成29年から平成30年にかけて、半減。(図書室利用により居場所の確保)

○学校教育計画

中退者の減少を目標、授業時間の確保

議決事項

なし

以上